

## 令和3年度 地方創生推進交付金等に係る実施事業一覧

①地方創生推進交付金 「小さな拠点を核とした市民協働による地域活性まちづくりプロジェクト」(R1～R3) 【事業概要】小さな拠点としての機能強化のための「地域づくり組織」等の設置の推進や地域コミュニティ基盤の整備に係る移動手段の確保事業など、小さな拠点となる中核集落の形成に向けた取組を行う。			令和3年度 KPI(重要業績指標)							
			指標名		実施前値		実績値			
			住民主体の地域づくり組織数	3	組織／累計	9	組織／累計	4	組織／累計	
			市街化調整区域における地区計画の指定区域数	2	地区／累計	7	地区／累計	3	3地区／累計	
			自主防災組織の組織率	82	%／年	91	%／年	85.6	%／年	
No.	事業名	事業内容	事業成果	担当課	歳出決算額 (円)	地方創生交付金充当額 (円)	担当課による評価	有識者会議委員による評価等		
								主な意見		地方創生の効果
								あり	なし	
1	みんなのまちづくり推進事業	自治基本条例推進委員会を設置し、まちづくりへの市民参画の状況把握や条例の適切な運用について検証・検討する。	・行政施策における市民参画について確認するとともに、持続可能な住民自治を推進するための提案をいただくため、福知山市自治基本条例推進委員会を開催した。	地域振興部 まちづくり推進課	149,240	74,620	B(相当程度効果があった)	・「市民協働の基本となる市民との情報共有のあり方について取組の方針」を制定されたことは評価に値する。今後も、行政は地域社会・住民の「熟議の場」を提供し、ファシリテーター役として、講習会の開催や身近なテーマ(防災・子育て・福祉・地域資源の見直しなど)を設定し、地域自主組織との課題解決のための会合を更に推進すべきである。	5	0
2	有償運送運行事業	地域組織が主体となって運行する交通空白地有償運送の運営に係る費用を補助金の交付により支援する。	三和、大江地域において、それぞれ地域組織が主体となって運行する「みわひまわりライド」、「鬼タク」の経費について補助を行い、過疎化・高齢化がすすむ地域住民にとって、需要に応じた移動手段の効果的な供給ができた。	建設交通部 都市・交通課	5,847,000	2,923,500	A(非常に効果があった)	・良い試みだと感じる。 ・市内の交通空白地で地域住民が主体となって有償運送を実施し、地域住民の生活移動手段の確保を目的とする事業であり、R3年度は三和地域で輸送実績は減少したが、利用率は向上しており効果が認めらる。ただし、夜久野地域他の交通空白地域もあり、B評価が妥当である。	5	0

【担当課による評価】  
以下の4段階で評価しています  
A: 非常に効果があった  
B: 相当程度効果があった  
C: 効果があった  
D: 効果がなかった

令和3年度 地方創生推進交付金等に係る実施事業一覧

No.		事業名		事業内容		事業成果		担当課		令和3年度 KPI(重要業績指標)※圏域全体の指標(括弧は市単独の数値)		実績値							
										指標名		実施前値		目標値		実績値			
										圏域への移住世帯数		71 (21)	世帯/年 (世帯/年)	81 世帯/年	157 (27)	世帯/年 (世帯/年)			
		②地方創生推進交付金「海の京都連携都市圏」形成推進事業」(R3～R5) 【事業概要】京都府北部で一つの経済・生活圏を形成し、中核市にも匹敵する産業・商業規模、観光拠点や交通機能等の都市機能を備える都市圏の実現に向けた取組を行う。		ワーケーション施設・テレワーク施設・サテライトオフィスの施設利用者数		3,501 (0)	人/年 (人/年)	3,711 (10)	人/年 (人/年)	6,684 (0)	人/年 (人/年)								
		製造品出荷額		66,783,790 (28,056,824)	万円/年 (万円/年)	67,117,709	万円/年	集計中	万円/年										
No.		事業名		事業内容		事業成果		担当課		歳出決算額 (円)		地方創生交付金充当額 (円)		担当課による評価		有識者会議委員による評価等			
														主な意見		地方創生の効果			
																あり		なし	
3		海の京都DMO事業	一般社団法人京都府北部地域連携都市圏振興社(海の京都DMO)に 対する自治体負担金。	京都府北部全体で観光による地域づくり、地域活性化のための施策を展開 [R3主要事業]①情報発信プロモーション②地域DX推進事業③地域コンテンツ造 成支援④特産品ブランド化、販売促進事業	産業政策部 産業観光課	7,972,000	3,986,000	C(効果があった)							・コロナの影響で観光入込客数の減少はやむを得ないと思う。 ・一方、地域活性化のための施策を展開することで特産品販売額は増加しており効果は十分にあったと思う。 ・R3年度に獲得した顧客情報を基礎として、ウイズコロナの視点から、京都府北部エリア全域の「自然」「文化資源(食文化を含む)」を利用した面としての取組みを促進してください。	5	0		
4		ふるさと就職おうえん事業	・合同就職説明会開催による市内企業と一般求職者・UJターン希望者 等とのマッチング機会創出 ・高校生ワークショップの開催による若者が地元企業を知る機会の提供 ・北京都ジョブパークとの共催による各種セミナーやカウンセリングの実 施、スキルアップ支援 ・その他、企業ガイド発行、公正採用啓発、人権ふれあいセンターでのパ ソコン講座、就職支援セミナー、個別就職相談会等の開催	合同就職説明会等には延べ322社、278名の参加があり、うち18名の就職内定 につながった。高校生ワークショップには78名の高校生が参加し、市内の若者へ 魅力ある地元企業を知るきっかけを提供した。	産業政策部 産業観光課	1,094,686	547,343	B(相当程度効果 があった)							・中学生以下の生徒を対象とした地元企業との 交流を開催するのも良いのではないかと 思う。 ・ここ3年間、残念ながら就職内定者数に減少 傾向が見られる。地元企業のみならずリモ ートワークを前提としたオフィスの設置等による外 部からの中小企業誘致を促進させ、若者の就 職機会をさらに増加すべきである。	5	0		
5		移住・定住促進事業	(1)京都府北部地域移住ネットワークづくり(民間プレーヤーと行政が協 力して移住につながるプロジェクトを企画・運営) (2)地域Webサイト「たんたんたん」改修等 (3)高校生「みらい」会議(ふるさとへの関心や愛着を醸成し、将来的なU ターンにつなげるためのワークショップ) (4)市町担当者連携会議(事業の進捗確認や今後の方向性について検 討する会議)	(1)民間主導で3つのプロジェクト(①現物払い兼業、②移住×就職イベント、③市 民ライター養成)を実施。 (2)求人検索機能の追加などにより移住者自線のサイトにリニューアルした。 (3)圏域内の公立市立合わせて12校24名の高校生が参加して市町を超えて交流 を行った。 (4)事業の進捗確認や次年度に向けての協議を行った。	地域振興部 まちづくり推 進課	1,023,464	511,732	B(相当程度効果 があった)							・さらなる福知山の魅力発信とセットで移住者増 を目指す。 ・地方創生の柱の1つを実現した結果(数値)を 評価したい。 ・古民家利用や一般空き家の利用、wifiの完 備、地元住民とのコミュニケーション促進など、 民間と行政が協働して実施すべきである。	5	0		
6		広域連携推進事業	・京都府北部地域連携都市圏(構成市町:福知山市、舞鶴市、綾部市、 宮津市、京丹後市、与謝野町、伊根町)において、総会、連携深化PT、 幹事会、各部会等を開催し、連携ビジョンやアクションプランに基づき地 方創生交付金を活用しながら各課が実施する連携事業を推進した。 ・第2期連携ビジョンに基づき、幹事である教育委員会において地方創生推 進交付金を活用しながら各種事業を推進する。	・圏域で共通する地域課題等の解決を図るため、本市が幹事を担う教育委員会 において、地域住民と連携した取組の推進に向けて福知山公立大学と共同で生涯 学習講座を開催した。 (1)第1回(11月28日(日))テーマ「海の京都におけるe-bikeツーリズムの未来」 (2)第2回(2月12日(土))テーマ「子どもをSNS性被害・性暴力から守る」 (北部7市町の男女共同参画部門との共催) (3)第3回(2月20日(日))テーマ「京都府北部から考えるデジタル田園都市の未 来」 ・「圏域内高等教育機関に広域連携に関する実態調査」を行い卒業生の出口対 策や各機関での課題等を調査した。	市長公室 経営戦略課	604,257	302,128	B(相当程度効果 があった)							・北部連携都市圏における図書館の相互利用 は実施されているが、図書館のみならず他の施 設(例えば、公民館や文化施設等)もフル活用 して、社会教育について広域で促進してはいか が。その際、「京都府北部連携バス」の発行 など、広域連携の利用者への見える化を工夫 すべきである。	5	0		
7		「知の拠点」推進事業	地域において、ICTやAI等の技術を活用するための基盤となる「数理・ データサイエンス教育拠点」を設立する。 また、「国際センター」を設立し、地域課題について海外の大学や研究 機関との学術交流事業を展開することにより研究の質を高めるとともに、 日本の地域課題解決にむけた知見を海外の研究者と共有し、国内外に 広く発信する。	令和3年7月に数理・データサイエンス教育研究拠点を設置し、令和4年度のセン ター設立に向けた研究体制を整えた。また、令和3年9月に国際センターを設立 し、学生と海外の学生が互いに学び合い地域の国際化に貢献する環境づくりを 進めた。	市長公室 大学政策課	7,200,000	3,600,000	A(非常に効果が あった)							・福知山公立大学の特徴・強みが年々市民にも 良い印象に映っている。 ・当初目標及び見込について、ともに大きく上 回っており成果が認められる。 ・市民への評価の浸透を評価したい。 ・令和3年7月に数理・データサイエンス教育研 究拠点を設置し、令和4年度のセンター設立 に向けた研究体制を整えた点は、高く評価され る。今後の人材育成の効果が期待される。	5	0		
8		スマートシティ推進事業(有害鳥獣 捕獲)	有害鳥獣対策に関する先進的知見を持つ兵庫県立大学の協力を得 て、対策に意欲的な地域から選定した獣害対策モデル地区において、 ICT機器を活用して地域・市・大学が協働して対策に取り組み、地域主体 の有害鳥獣対策の体制構築を図る。	○遠隔監視・遠隔捕獲が可能なICT囲いわなや赤外線センサーカメラを活用する ことで獣の動きを可視化し、地域住民を主体とした積極的な捕獲活動が実施でき た。 ○防除柵の点検・補修を徹底し、農作物被害の軽減を達成することができた。	産業政策部 農林業振興 課	13,603,911	6,801,955	B(相当程度効果 があった)							・地域との連携プレーの成果が現れている。	5	0		
9		シニアワークカレッジ事業	シニア世代を中心にITの知識や技術を身につけるための情報教育プロ グラムを福知山公立大学に委託して開講する。 全3コース ①データサイエンスコース ②DX人材育成コース ③AI人材育成コース	3コース合計28人が受講し、IT技術や知識を身につけた。 また、講義を受講した事業所からの共同研究に結びついた案件も出ている。	市長公室 大学政策課	1,540,000	770,000	A(非常に効果が あった)							・福知山は学べる場所が多いことをさらにPRし てはどうか。 ・本事業を訴求するための策(＝基礎編・入門 編等の設定)が必要。 ・素晴らしい取り組みであるが、ターゲットとなる 受講者が、事業名と一致していないのでは。 よって、評価はBが相当。	5	0		

令和3年度 地方創生推進交付金等に係る実施事業一覧

		令和3年度 KPI(重要業績指標)※圏域全体の指標(括弧は市単独の数値)								
		指標名		実施前値		目標値		実績値		
		観光主要施設売り上げ額		2,184,861 (1,021,350)	千円/年 (千円/年)	2,338,861 (1,150,000)	千円/年 (千円/年)	1,668,678 (542,619)	千円/年 (千円/年)	
		移住支援制度を利用し転入した人の数		99 (11)	人/年 (人/年)	194 (30)	人/年 (人/年)	323 (71)	人/年 (人/年)	
人口社会増		△587 (△131)	人/年 (人/年)	△337 (△80)	人/年 (人/年)	△538 (△64)	人/年 (人/年)			
起業支援制度を利用して起業した人の数		32 (11)	人/年 (人/年)	72 (35)	人/年 (人/年)	64 (33)	人/年 (人/年)			
No.	事業名	事業内容	事業成果	担当課	歳出決算額 (円)	地方創生交付金充当額 (円)	担当課による評価	有識者会議委員による評価等		
								主な意見		地方創生の効果
								あり	なし	
10	「知の拠点」推進事業	北近畿地域の将来を担い活躍できる人材を育成し、圏域内の人材交流を促進するために北近畿地域連携機構の機能強化を行う。 また、地域防災研究センターを設置し、北近畿地域における地域防災に関する研究拠点として、学術的な観点から地域防災力強化に取り組む。	地域防災研究センターでは、MITとの共同研究や厚生労働科学特別研究への参画、自治体職員への防災研修を行うなど、学外との連携を積極的に行った。	市長公室 大学政策課	14,687,417	7,343,708	A(非常に効果があった)	・福知山公立大学の特徴・強みが年々市民にも良い印象に映っている ・共通する社会問題を広く北近畿で主導的に対処、評価したい。 ・自然災害が頻発する中、地域防災研究センターを設置し、MIT・行政とのリスキップ開発を推進されていることは大いに評価できる。なお、地域の事情に詳しい地域住民とも十分に協議をして、進めてください。	5	0
11	福知山市産業支援事業	相談業務を中心とした支援を行う福知山産業支援センター「ドッコイセ！biz」においてあらゆる業種の事業所の相談に対応する。福知山産業支援センター「ドッコイセ！biz」の運営業務については、一般社団法人福知山産業支援機構へ業務委託をする。 市内の小規模企業者が、市内において製造、加工、開発された製品及びサービス等を不特定多数の者に周知することを目的とした展示会等への出展にかかる経費の一部を補助金として交付する。	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により予定していた講演会やセミナーについては開催を中止したが、年間を通じて954件の相談に対応し、事業者の売上アップや販路開拓につながった事業者は126者であった。	産業政策部 産業観光課	25,409,608	12,704,804	B(相当程度効果があった)	・創業予定者の相談も多いと思われる。開催時期を工夫した創業パネル展の継続は必要だと思えます。 ・事業を敷衍化するためにその存在感は大きい ・EC(電子販売)が拡大する現状において、ネット販売サイトの構築の相談などについて新規相談者(特に若い世代)への相談も促進してください。	5	0
12	福知山PR戦略総合推進事業	◆明智光秀 ○光秀マインドVol.2 福知山城チャレンジ ○光秀マインドVol.3 光秀そっくりさん募集、福知山の姿の準備 ○福知山城マインクラフト ○光秀ピクトグラム ○謀反ハガキふるさと納税追加 など ◆鬼○福知山市の資産「酒呑童子絵巻」を基にした鬼アニメ「転生したら鬼退治を命じられました」制作 ○『鬼滅の刃』宇髄天元役などで活躍する声優・小西克幸さんの「鬼ガイド」制作 ○クラウドファンディング型ふるさと納税 ○鬼鬼祭 ○グッズ開発 など ◆市役所・市全体 研修、プレスリリース添削、講演など	OR2～3年度の本事業が、11アワードを受賞。全国広報コンクール2021 広報企画部門「特選・総務大臣賞(全国1位)、第1回シティプロモーションアワード「金賞」など。○鬼や光秀のPR活動が、ネットを活用した発信の好例として、NHK京都・関西での特集や朝日新聞京都版の回題で紹介される。○メディア掲載件数800件以上(前年度2倍)。○福知山ファンクラブ会員は1年で200人増加(3011人→3208人)。Twitter、Instagram、YouTubeフォロワー数も順調に増加。	市長公室 秘書広報課	25,000,000	12,500,000	B(相当程度効果があった)	・光秀と鬼のシナジー効果を出せるPRを考える ・中心となる具体的なコンテンツが弱いのでは。 例えば、福知山の歴史を背景としたアニメ制作などを、アニメ学部を有する大学(例えば、京都精華大学など)と協働で開発してはどうか。	5	0
13	オレンジのまちづくり推進事業	・認知症、あいサポート、虐待防止に関する映画上映等により、市民へのオレンジのまちづくりを推進する。 ・ポスターを作成する。 ・先進地視察や講演会等へ参加する。	認知症サポーター養成講座等でチラシを配布すること、長田野工業団地・アネクス京都三和の工場長会で説明することでオレンジのまちづくりを周知した。また、図書館中央館での啓発展示は、児童の夏休み期間と合わせることで効率的な啓発・事業周知につなげた。	福祉保健部 社会福祉課	56,000	28,000	C(効果があった)	・コロナの影響で活動ができなかったことはやむを得ないと思う。 ・今後は、HPや市報による周知に加え、サポーターの声をSNS等を活用して紹介することも良いのではないかと。 ・一層浸透させるための策が必要 ・オレンジのまちづくりの仕掛けとして、もっと多世代交流(老人福祉施設と保育園との交流など)を実施してはいかかか。	5	0

令和3年度 地方創生推進交付金等に係る実施事業一覧

令和3年度 KPI(重要業績指標)				令和3年度 KPI(重要業績指標)							
④地方創生推進交付金「あなたとともに」心やすらぐ地域の暮らしを～みんなが主役の地域振興事業(R3～R7)				令和3年度 KPI(重要業績指標)							
【事業概要】大都市圏からの移住定住を促すことで、新たな人の流れを生み出す。さらに、そうした人たちが「地域で暮らさず、地域で暮らす」という夢を実現するための支援や環境整備を行う。また、地域の強みを活かした取組を支援し、今までの観光地域づくりにとどまらず、地域のあらゆる産業が連携し相乗効果を生み出せる、観光を入口とした地域振興と多角的な地域経済を実現する。				指標名		実施前値		目標値		実績値	
				地域への移住者、地域活動にかかわった地域外の人の延べ人数		704 人		754 人		758 人/年	
				地域での新規就職者数		1,053 人		1,153 人		924 人/年	
				本事業により空き家等を活用して交流を行う拠点数		0 箇所		0 箇所		2 箇所/年	
				地域の一人当たり所得向上額		3.6 千円		53.6 千円		74.0 千円/年	
No.	事業名	事業内容	事業成果	担当課	歳出決算額(円)	地方創生交付金充当額(円)	担当課による評価	有識者会議委員による評価等			
								主な意見		地方創生の効果	
								あり	なし		
14	森の京都DMO事業	一般社団法人森の京都地域振興社(森の京都DMO)に対する自治体負担金。	京都府中部全体で観光による地域づくり、地域活性化のための施策を展開[R3主要事業]①マーケティング調査②着地型旅行商品、滞在型コンテンツの開発促進③カーシェアリング推進④プロモーション	産業政策部 産業観光課	6,432,000	3,216,000	B(相当程度効果があった)	・R3年度は物販販売額が目標を大きく超えた点は評価に値するが、当該事業の目的に照らして相当程度の効果があったか疑問である。C評価が妥当ではないか。		5	0
15	ふくちやまサードプレイスツーム事業	・ポータルサイト「KITAIRO」での体験型コンテンツの情報発信及び販売業務 ・地域資源の磨き上げによる体験型コンテンツの造成 ・体験型コンテンツ紹介のための動画撮影業務	・酒蔵見学・試飲、川エビ釣り、漆掻き文化体験など、福知山でしか体験することができない観光コンテンツの発掘を行い、11コンテンツを商品化した。 ・商品化したコンテンツは全てプロモーション動画を撮影し、ポータルサイト「北色」でコンテンツの魅力発信を行いながら販売した。	産業政策部 産業観光課	4,494,600	2,247,300	B(相当程度効果があった)	・見応えある「有形資産」活用に貢献している事業。 ・体験コンテンツの販売は素晴らしい取り組みである。今後は、バーチャルの強みをいかして、リアル(現地)での体験を促進し、滞在型観光に結びつけていけるように努力してほしい。		5	0
16	移住・定住促進事業	移住希望者・移住者に関する支援及び情報発信を行う。	移住希望者に向けてSMOUTやSNSを活用してウェブでの情報発信を強化した結果、空き家情報バンク制度を通じての移住者数・新規移住希望者数ともに過去最多を更新した。 移住者数:27世帯71人 新規移住希望者数:333世帯645人(市内在住51世帯96人を除く。)	地域振興部 まちづくり推進課	1,056,000	528,000	B(相当程度効果があった)	・移住者に対して、福知山市を選んできた理由等をアンケートし、回答していただいた福知山市の魅力を重点的にPRしていくことも良いのではないかと。 ・高校、大学の教育費を金融機関から借入した場合、その利子について補給することも良いのではないかと。 ・地方創生の柱の1つを実現した結果(数値)を評価したい。		5	0
17	みんなのまちづくり推進事業	・「未来ラボ事業」において、4組が活動プロジェクトを実施した。地域資源のPRや大河ドラマ「麒麟が来る」に関連した地域を盛り上げる取組みなど、学生が地域に向き合うことでふるさとへの思いや地域に関わることへの学びを深めることに繋がった。 ・「わかもの会議」を実施し、地域の大学生実業家などの講演を通じて、若者と地域が繋がるまちづくりについて学ぶ場を提供し、地域活性化への意識醸成に繋がった。	・「未来ラボ事業」において、4組が活動プロジェクトを実施した。地域資源のPRや大河ドラマ「麒麟が来る」に関連した地域を盛り上げる取組みなど、学生が地域に向き合うことでふるさとへの思いや地域に関わることへの学びを深めることに繋がった。 ・「わかもの会議」を実施し、地域の大学生実業家などの講演を通じて、若者と地域が繋がるまちづくりについて学ぶ場を提供し、地域活性化への意識醸成に繋がった。	地域振興部 まちづくり推進課	1,200,000	600,000	B(相当程度効果があった)	・住民とりわけ若者が主体的に地域社会の未来について考え、議論する当事業は素晴らしい取組みである。息の長い取組を期待する。		5	0
令和3年度 KPI(重要業績指標)※圏域全体の指標(括弧は市単独の数値)				令和3年度 KPI(重要業績指標)							
⑤地方創生推進交付金「大河ドラマ「麒麟がくる」を契機にした「城下町」レガシープロジェクト(R1～R3)				令和3年度 KPI(重要業績指標)							
【事業概要】大河ドラマ「麒麟がくる」推進協議会を中心に広域プロモーション事業を行い、各エリア間の周遊観光を促進するとともに、地域資源を活用し各地域の「稼ぐ力」につなげる他、交流人口拡大とこれを契機にした地域経済の活性化を図る。				指標名		実施前値		目標値		実績値	
				関連観光スポットの観光入込客数		418 万人/年 (156,214 人/年)		475 万人/年 (446,214 人/年)		418 万人/年 (202,828 人/年)	
				関連観光スポットの観光消費額		202 億円/年 (123,641 千円/年)		234 億円/年		172 億円/年 (154,389 千円/年)	
				クルーズ船の寄港数		23 回/年		38 回/年		4 回/年	
No.	事業名	事業内容	事業成果	担当課	歳出決算額(円)	地方創生交付金充当額(円)	担当課による評価	有識者会議委員による評価等			
								主な意見		地方創生の効果	
								あり	なし		
18	やくの木と漆の館事業	漆に関する資料展示、漆芸作家の作品を展示する企画展の開催、漆器の制作及び販売、漆塗り体験者への指導、金継ぎ教室及び蒔絵教室の開催など	丹波漆の伝承と、漆塗りや漆の絵付けなど様々な漆芸が学べる体験型施設として運営するとともに、漆器の制作販売や、漆芸作家作品等の展示、各種資料展示、体験教室などを通じて地域文化の振興を図った。	地域振興部 夜久野支所	2,355,352	1,177,676	C(効果があった)	・コロナ禍で集客ダウンはしかたない。福知山には必要なスポット。 ・海外展開までできると、さらに良い。 ・夜久野地域は日本古来有数の「漆」の産地、その更なる訴求必須 ・夜久野地域における丹波漆の伝統継承と漆産業の振興は、極めて重要である。漆器文化の根付いた他団体の取組みなども十分に研究し、多くの人に丹波漆器の良さをさらに発信して欲しい。		5	0
19	和紙伝承館管理事業	・丹後手すき和紙の歴史や生産技術等の展示公開を行う。 ・市域小中児童生徒を対象に地域文化の伝承として手すき和紙製作体験を行う。(コロナ感染症拡大防止のため、一般の体験は休止する。) ・地域資源を活用し、観光入込客の受け入れを行う。(展示公開による。)	入館者数302人・手すき和紙製作体験者数61人・施設開館日(土日・祝日)91日間 伝統的な手すき和紙を広く伝えるため、和紙関連作品の企画展示会を年3回開催する。また、コロナ感染症拡大防止のため地域文化伝承を担う手すき和紙製作体験については、一般の体験を休止し、地域文化伝承のため市域小中児童生徒に限り実施する。	地域振興部 大江支所	929,000	464,500	C(効果があった)	・コロナ禍で集客ダウンはしかたない。福知山には必要なスポット。 ・「漆」同様「和紙」を広く伝承する策を具体的に検討・示す必要		5	0

令和3年度 地方創生推進交付金等に係る実施事業一覧

⑥地方創生推進交付金「北部地域連携都市圏ものづくり産業都市創造プロジェクト」(R1～R3) 【事業概要】整備の進んだ物流ネットワークを活用し、産学公連携によるものづくり産業の基盤技術の定着支援、京都舞鶴港の利用促進、人材育成・確保・雇用創出、企業誘致、販路開拓等の事業を実施する。			令和3年度 KPI(重要業績指標)									
			指標名		実施前値		目標値		実績値			
北部地域の製造業事業所数(京都府)			419		件/年		459		件/年			
北部地域の製造業従業者数(京都府)			15,732		人/年		17,303		人/年			
舞鶴港のコンテナ取扱量			13,402		TEU/年		16,402		TEU/年			
若手人材の地元企業定着率(京都府)			56		% /年		65		% /年			
No.	事業名	事業内容	事業成果	担当課	歳出決算額(円)	地方創生交付金充当額(円)	担当課による評価	有識者会議委員による評価等				
								主な意見		地方創生の効果		
								あり	なし			
20	稼げる農業応援事業	ふくちやまのエエもん発掘事業 「これぞ福知山」といえる郷土色豊かな農産品や加工品を「ふくちやまのエエもん」として認定し、商品のブラッシュアップ支援や、商談会等への出展支援を実施する。	新たに福知山ならではの5品を「ふくちやまのエエもん」に認定し、累計で22品目となった。 大阪にて「ふくちやまのエエもん」を素材に使用したコース料理の食事を開催し、ホテルの料理長や料理雑誌編集者等に認定品のPRを実施した。	産業政策部 農林業振興課	6,586,834	3,293,417	〇(効果があった)	・本取組みは、農業ネタとしての意義を、次世代につなぐ施策。 ・「ふくちやまのエエもん」の認定制度自体の知名度も高くないのでは。熊本のくまモンのように、福知山市のご当地キャラを利用して認定のPRを促進し、ランキングを設けて認定後もさらに品質を向上できる仕組みを設けたらどうか。			5	0
21	「知の拠点」推進事業	小中学生を対象としたプログラミング教室の実施や、公開講座等の講義をデジタルアーカイブ化し、オンラインで配信するシステムを構築し市民の学習意欲の向上を図る。 また、産学官連携コーディネータを雇用し、企業や行政と大学をつなぐ連携の構築を図る。	小中学生を対象としたプログラミング教室を4コース開催し、合計35名が参加した。また、映像メディアコンテンツの制作に関わるスタジオ機材を中心に整備し、アーカイブコンテンツの制作を行った。	市長公室 大学政策課	2,830,000	1,415,000	A(非常に効果があった)	・北近畿を領導する情報化学施策が広範に浸透することを願う。 ・引き続き北近畿地域の情報人材の育成に取組んでください。			5	0
⑦地方創生推進交付金「子育て、子育てにやさしい」京都創生プロジェクト事業(R3～R7) 【事業概要】京都府の各地域が連携し、子育てにやさしいまち(誰もが住みやすいまち)の核づくりとして、「地域での仕事づくり」、「関係人口の創出」、「若者定着促進」に取り組み、若者・子育て世代がそれぞれのニーズに応じた居住地を京都府内で選択できる環境を創出し、府外への転出を抑制するとともに、移住を希望する人が自身の生活環境のニーズが叶えられる地域を選択できる状態を整えることで府外からの移住促進を図る。			令和3年度 KPI(重要業績指標)									
			指標名		実施前値		目標値		実績値			
			モデル地域市町村における人口の社会減解消		△ 926		人/年		△ 826		人/年	
市町村による重点取組エリアの設定			4		箇所/年		9		箇所/年			
エリア内での起業数、雇用(関係人口の創出)			0		件/年		60		件/年			
No.	事業名	事業内容	事業成果	担当課	歳出決算額(円)	地方創生交付金充当額(円)	担当課による評価	有識者会議委員による評価等				
								主な意見		地方創生の効果		
								あり	なし			
22	NEXTふくちやま産業創造事業	〇機運醸成イベント「NEXT産業創造塾」開催 地域の「起業に挑戦する風土」を構築するため、先進地の講師を招聘し、先進事例に触れる機会を創出する。また、広く起業への機運醸成を図るとともに、地域間のネットワーク構築にも繋げる。NEXT産業創造プログラムの周知も図るため、年二回程度開催する。 〇起業家等人材育成プログラム「NEXT産業創造プログラム」開催 起業や企業内起業等をめざす人を対象に、起業に必要とされる高度な知識やスキルを修得できるようなプログラムを実施、社会人の学び直しを推進する。本プログラムを通じて先進的な企業や起業家との交流を生み出すことで、新たな産業の創出に繋げる。 ＜めざす人物像＞アントレプレナー・イントレプレナー等 ＜カリキュラム＞基礎科目、事例研究型科目、PBL型科目 ＜開催時期＞8月上旬～2月上旬(年度末にピッチイベント開催)＜募集定員＞15名程度	・令和3年度NEXT産業創造プログラムでは、募集定員15名程度のところ、北近畿地域をはじめ遠くは東京都より22名の方々からの応募があり、最終ステップまで進まれた修了者20名が9つの新規事業を創出された。 ・クラウドファンディングを活用しテストマーケティングを実施した受講者は、316名(うち市外応援者8割)から総額約250万円の資金調達を達成された。	産業政策部 産業観光課	9,801,220	4,900,610	A(非常に効果があった)	・魅力的な学びの場として今後も続けてほしい ・地域経済の活性化は創生事業に課された責務。更なる深耕を期待。 ・クラウドファンディングを活用しテストマーケティングの実施の取組みは素晴らしい取り組みである。			5	0
⑧地方創生道整備推進交付金「北近畿の拠点“福知山”ネットワークを強化する道作り計画 ～広域連携の強化小さな拠点を結ぶ地域連携の強化～」(H28～R4) 【事業概要】市内の道路網を整備し、交通の利便性、地域間交流の促進、交流ネットワークの強化を図る。			令和3年度 KPI(重要業績指標)									
			指標名		実施前値		目標値		実績値			
			観光入込客数		792,139		人/年		1,000,000		人/年	
森林整備実施面積			373		ha/年		587		ha/年			
No.	事業名	事業内容	事業成果	担当課	歳出決算額(円)	地方創生交付金充当額(円)	担当課による評価	有識者会議委員による評価等				
								主な意見		地方創生の効果		
								あり	なし			
23	地域間交流促進ネットワーク事業(市道)	広域的な道路網の整備とこれに接続する幹線道路の改良を行い危機対応の強化を図る。 (市道10路線、9.755m)	地域間を結ぶ幹線的な道路など優先度の高い路線を整備し、地域間の連携強化を行いネットワークの強化、災害時における避難経路の確保を行い安心・安全な道路環境が整えることができた。しかし、コロナ禍によるイベントの中止等により、観光入込客数が減り、年度計画を達成できなかった。	建設交通部 道路河川課	95,627,900	47,813,950	〇(効果があった)	・特に意見なし			5	0
24	地域間交流促進ネットワーク事業(林道)	広域的な道路網の整備とこれに接続する幹線道路の改良を行い危機対応の強化を図る。 (林道1路線、48m)	地域間を結ぶ幹線的な道路など優先度の高い路線を整備し、地域間の連携強化を行いネットワークの強化、災害時における避難経路の確保を行い安心・安全な道路環境が整えることができた。しかし、コロナ禍によるイベントの中止等により、観光入込客数が減り、年度計画を達成できなかった。	産業政策部 農林業振興課	20,048,600	10,000,000	〇(効果があった)	・特に意見なし			5	0

令和3年度 地方創生推進交付金等に係る実施事業一覧

令和3年度 KPI(重要業績指標)											
		指標名	実施前値	目標値	実績値						
<b>⑨地方創生拠点整備推進交付金「『知の拠点』整備構想」産学官連携拠点整備計画」(R1～R3)</b> <b>【事業概要】</b> 福知山公立大学、京都工芸繊維大学福知山キャンパスと多様な主体が連携できる情報教育研究拠点を整備し、共同研究プロジェクトの社会実装を進めることにより若者の定着や人材育成、産業イノベーションの創出を図り、北近畿全体の活性化につなげる。※1											
		福知山公立大学、京都工芸繊維大学による地域企業との共同研究プロジェクト件数	0	件	3	件	3	件			
		両大学と地域企業等の共同研究プロジェクトにより創出された産業振興に資する新商品、新サービス等の開発(実用化)件数	0	件	1	件	4	件			
		社会人等へのリカレント教育を通じた地域情報人材の育成	0	人	125	人	63	人			
No.	事業名	事業内容	事業成果	担当課	歳出決算額(円)	地方創生交付金充当額(円)	担当課による評価	有識者会議委員による評価等			
								主な意見		地方創生の効果	
								あり	なし		
25	「知の拠点」推進事業	福知山公立大学3号館を改修し、地域企業や行政機関との共同研究機能、情報人材育成に向けた地域住民、社会人、企業職員等を対象とする情報学に関するリカレント教育機能、京都工芸繊維大学の国立・公立の文理連携を含めた産学官連携機能を備える情報教育研究拠点施設として整備する。	整備した施設において、福知山公立大学が持つ情報技術等を活用したプロジェクトを実施し、地域の情報化教育の推進に貢献した。	市長公室 大学政策課	0	0	A(非常に効果があった)	・今後も情報人材育成のためのリカレント教育など促進をお願いしたい。		5	0
令和3年度 KPI(重要業績指標)											
<b>⑩企業版ふるさと納税(地方創生応援税制)「働いてみたい福知山長田野工業団地PR事業～企業誘致、環境対策に向けて」(R1～R3)</b> <b>【事業概要】</b> 本市の地域経済を牽引する工業団地の防災対策や環境整備を進めるとともに、魅力ある工業団地であることをPRすることにより企業誘致の促進、市内の学生等の就職の促進と定着を図り、人口減少に歯止めをかけ地域経済をさらに発展させる。※2											
		指標名	実施前値	目標値	実績値						
		新規誘致企業数	0	社	3	社	3	社			
		地元雇用者数	0	人	30	人	-7	人			
No.	事業名	事業内容	事業成果	担当課	歳出決算額(円)	地方創生交付金充当額(円)	担当課による評価	有識者会議委員による評価等			
								主な意見		地方創生の効果	
								あり	なし		
26	長田野工業団地内緩衝緑地帯再整備等事業	長田野工業団地緩衝緑地等の樹木伐採及び処分	長田野工業団地地利活用増進計画により、長田野工業団地内企業と協議を行うことによって、良好な計画で進捗している。企業の操業環境の整備が順次実施できている。	市長公室 秘書広報課	0	0	A(非常に効果があった)	・長田野工業団地緩衝緑地等の樹木伐採及び処分による廃材について、リサイクルなど環境を配慮した取組みができていないか、まだであれば検討をお願いしたい。		5	0
27	化学消防車両購入事業	消防本部の消防車両を更新整備する。 ・化学消防ポンプ自動車1台を更新整備した。	・化学消防ポンプ自動車1台を更新整備し、長田野工業団地立地企業等の防火・防災環境を整備することができた。	市長公室 秘書広報課	0	0	A(非常に効果があった)	・令和元年以降の消防車(化学消防車含む)の実稼働率のデータを記録しつつ、山火事などに備えてドローンなど、他の消火方法の必要性の有無も、今後検討されてはいかか。		5	0

※1

⑨地方創生拠点整備推進交付金「『知の拠点』整備構想」産学官連携拠点整備計画」は、令和元年度に整備事業(歳出決算額:207,994,000円(交付金充当額:102,283,000円)を実施完了しており、以降の事業費は0円ですが、計画の期間は令和3年度までであるため、検証を行っています。

※2

⑩企業版ふるさと納税(地方創生応援税制)「働いてみたい福知山長田野工業団地PR事業～企業誘致、環境対策に向けて～」は令和元年度に地方創生応援税制による寄付(寄付額:10,000千円)により実施完了しており、以降の充当額は0円ですが、計画の期間は令和3年度までであるため検証を行っています。